



首相官邸にて（5月11日）

負けてたまるか！からは

このたびの東北関東大地震並びに原子力災害により被害に遭われた皆様、避難生活を送られている皆様に、心よりお悔やみ、お見舞い申し上げます。

国内観測史上最大となった地震に端を発し、津波、そして東京電力福島第一原子力発電所の事故が重なり、全町避難を余儀なくされました。住み慣れた我が家を後にし、避難生活も長期化していることから体調を崩されたり、今なお続く余震に不安な日々を過ごされていることと存じます。現在私たちは苦しい状況下にありますが、「絶対に樫葉へ帰る」という思いを胸に、

心をひとつにして、この未曾有の難局を乗り切っていただきたいと切に願っております。

私ども樫葉町議会といたしましては、被災された皆様の安全を最優先に、少しでも安心して過ごせる環境を整えるべく、国や県、東京電力に対して要望活動を行っております。また、今出来ること、必要なことをよく精査し、町民生活の一日も早い安定と復旧、復興に向け、議会議員一丸となって取り組んで参りますので、皆様のご支援とご協力をお願い致します。

樫葉町議会議長 松本幸英

6月定例会

平成23年第5回定例議会は、6月22日から23日までの2日間の会期で、会津美里町新鶴支所の議場を借りて行いました。

平成23年度の各会計の補正予算2件、条例制定1件、条例改正3件、専決処分の承認3件、報告4件を審議しました。また、一般質問に9議員が登壇しました。

提出された議案は、慎重に審議した結果、すべて原案のとおり可決しました。

条 例

☆いわき出張所設置条例

町民の区域外避難に伴い、町民の生活の安定を図るため、町長の権限に属する事務を分掌させるため、原案のとおり可決。

これにより、いわきでも住民票を発行できるようになります。

☆公告式条例の特例に関する条例の改正

☆税条例の改正

☆国民健康保険税条例の改正

補正予算

☆平成23年度一般会計補正予算

予算総額に災害復旧のため、3億円追加したものであり、原案のとおり可決。

主な内容は、仮設住宅壁抜き工事やネットワーク工事、こども園の広域入所ための負担金である。

☆平成23年度後期高齢者医療特別会計補正予算

専決処分

☆平成23年度一般会計補正予算

☆高等学校等通学費助成に関する条例の改正

☆平成23年度下水道事業特別会計補正予算

報 告

☆一般会計繰越明許費繰越計算書ほか3件

第4回 5月臨時会 賛成全員で承認

☆一般会計補正予算など10件の承認

町政を問う！ いっぱん質問

9議員登壇



まつもと しげ よし 議員
松 本 重 義

□総括事務機能移転を・・・いわき地区へ

問 いわきへの事務機能移転をどう考えているか。

答 原発の収束時期や東京電力の動向を注視しながら、検討する。

問 双葉地区連合として、連携を図るべきであるが。

答 復旧・復興に向けた取り組みを展開していきたい。



あ じ ま た く お 議員
安 島 琢 郎

□最終帰宅までの工程はどう考えているか。

問 上下水道、町道などインフラ復旧の整備は。

答 早期完成を目指していきたい。

□所在町協議会の構成員として町長の社会的責任はないか。

答 大変申し訳なく思っており、復旧・復興に向け全力で取り組む。



まつもと きよ 恵 議員

□原発事故によって避難生活を送っている
町民に対する行政の判断は

問 半径20キロの緊急時避難準備区域から警戒区域を決めた町長の対応は。

答 内閣総理大臣が警戒区域を設定し、それに基づき4月22日設定した。

問 教育現場の対応は。

答 避難先の自治体と協議しながら、子供たちの支援等も対応しており、「自分の知る仲間と顔を合わせ、勉強、遊びができること」を大事に思っている。



やまのうち さ ない 議員

□今回の大震災及び原子力災害は。

問 波倉地区では8名の尊い命が奪われたが、行政の責任だと思うが。

答 多くの人が納得いくよう、見舞金等に対して、検討する。

問 農業賠償相談窓口設置について

答 会津美里町出張所といわき出張所に相談窓口を設けている。



ゆう き まさ しげ 議員

□東日本大震災並びに原子力災害について

問 所在協議会の一員として、原発の安全を主張してきたが、崩れた今素直な気持ちは。

答 大変申し訳なく思っている。

問 家屋の雨漏り対策の実施は。

答 詳細が決定次第、速やかに対応する。



すず き ひで お 議員

□応急仮設住宅の生活環境対策について

問 町が想定している問題点と対応策は。

答 高齢者に対する施設整備や生活支援入居者の意見を反映しながら取り組みたい。

問 関西圏のNPOなどの支援を受ける考えは。

答 どのような支援をお願いできるか検討する。



やま だ あさろ 議員

□震災後の町政と将来展望

問 町民の安全・安心をどのように考えているか。

答 関係機関はもとより、町民の協力を得ながら安全・安心に取り組んでいく。

□町民の財産保全についての町の対応は

問 避難区域について、国・県に対し強く交渉する気持ちは。

答 国・県に対し要望していきたい。



まつもと き いち 議員

□避難生活の今後は。

問 広報活動はどのようにしているか。

答 広報「ならは」の発行、ホームページの活用、携帯電話のメール配信などを考えている。

問 榎葉町の今後の運営は。

答 ライフラインの整備や「榎葉町復興ビジョン」の策定、ソフト面の充実を考えている。



なが やま ひろ お 議員

□被害に対する今後の対応は

問 家屋を流失した方々の対応は。

答 あらゆる制度の活用に取り組んでいく。

問 家屋に損傷を受けたものへの応急処置は。

答 国・県と協議しながら速やかに対応する。

東日本大震災並びに原子力災害に関する特別委員会を設置

第3回4月臨時会において、3月11日に発生した東日本大震災並びに原子力災害を調査するため特別委員会を設置しました。

●構成

委員長 結城政重
副委員長 松本喜一

●緊急要望

特別委員会では、5月11日、国及び東京電力㈱に対し緊急要望及び抗議を行いました。

1. 要望先

内閣総理大臣、総務大臣、東京電力㈱ほか

2. 要望書の主な項目

- 1 福島第一原子力発電所事故の収束を一刻も早く図ること。
- 2 原子力災害に対する補償については、国の責任において特別立法を制定し、全額補償すること。
- 3 放射線被害（風評被害も含む）に対しては、直接、間接を問わず、すべてのものに対し、国家補償すること。
- 4 被災者の医療費について避難期間中は国が全額負担すること。
- 5 被災者に対する高速道路料金を往復無料にすること。
- 6 被災者が自主避難され、すでに借り上げている住宅に対しても補助対象とすること。

3. 抗議文の主な内容

楢葉町は、福島第二原子力発電所1号機の運転開始以来、国策に協力してきたがそれは、事故は絶対に起きないと説明されてきたからである。

しかし、今回の原子力災害により楢葉町8,042人の町民は、福島や東京をはじめ、埼玉・千葉など全国35都道府県に7,752人が避難して、町が崩壊寸前である。

よって、今回の原発事故に対し、強く抗議する。

●要望

国への要望活動に引き続き、6月13日、県に対し要望活動を行いました。

1. 要望先

県、議会、東京電力㈱福島地域支援室長ほか

2. 要望書の主な項目

- 1 警戒区域の設定に当たっては、第一原発からの距離で判断するのではなく、実際の放射線量で決定すること。
- 2 希望者全員が即入居出来るような仮設住宅を早急に建設すること。
- 3 一時帰宅の希望者が早急に一巡出来る様な日程を組むとともに装備の簡素化を図ること。
- 4 避難先での高齢者や障がい者等に対する医療、福祉、介護サービスの充実を図ること。
- 5 避難民の更なる雇用対策の充実を図ること。



民主党本部へ要望

●町内におけるインフラ調査

特別委員会では、警戒区域解除後に楢葉町民が一刻も早く帰れるよう、町内の下水処理場、上水道、町道などインフラ調査を行いました。

双葉地方町村議会議長会会長に就任

双葉地方町村議会議長会会長の任期満了に伴い、楢葉町議会議長の松本幸英が新たに議長会の会長に就任されました。

双葉地方町村議会議長会では、双葉郡が一致団結して、復興に向け取り組んでいきます。

